



のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



特集

第4期地域福祉実践計画策定 アンケート結果を報告します

民生委員・児童委員との協働で実施する「タブレットつながり事業」。
先日担当委員向けの研修会を開催し、タブレットの操作方法をみんなで確認しました。

CONTENTS

- P2 特集 第4期地域福祉実践計画策定 アンケート結果報告
- P4 歳末たすけあい募金にご協力ください
- P6 高齢者の暮らしに寄り添う仲間を募集しています
寄付者のご紹介
- P7 ささえあいメッセージプロジェクト
きずなのまちびと
- P8 福祉活動功労者14団体23名が受賞
道新ボランティア奨励賞受賞



2021
11.01 No. 153

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
[事務局] 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センターしんた21内
[TEL] 0143-88-0860
[FAX] 0143-88-4546
[mail] info@kizuna-shakyo.jp
[HP] https://kizuna-shakyo.jp
[Facebook] https://www.facebook.com/kizunashakyo/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集

第4期 地域福祉 実践報告 計画 策定

登別社協では、地域福祉活動に日頃から取り組む地域の方々と構成される「きずな推進委員会」と共に、市民の福祉活動をどのように進めていくかを具体的に定める「登別市地域福祉実践計画（愛称きずな計画）」を策定しています。

平成18年から5か年を1期として取り組むきずな計画は、現在第3期の最終年度となり（コロナ禍のため第3期は1年延長）、次の第4期の策定期間を迎えています。今回は、市民の声を取り入れた計画策定を目指し実施したアンケート調査の集計速報をお伝えします。

期間 2021年7月17日～2021年8月13日

対象 福祉活動実践者（きずな推進委員、町内会役員、民生委員・児童委員、ボランティアグループ、サロン関係者、ファミリーサポートセンター提供・両方会員等）

回収数 603 / 1,060部（回答率:56.9%）



※上位3項目掲載

身近な地域で どのような世帯が気にかかるか

1. 外出時の移動手段に困っている世帯 (38.9%)
2. 介護や介助に困っている世帯 (34.7%)
3. 障がいによる不安を抱えている世帯 (24.7%)

⇒1番多かった移動支援の問題に加え、他にも引きこもり、サービス拒否といった課題も気にかかる活動者が多い傾向にありました。介護や障がい面で不安を抱える世帯に気が付き、気にかけている活動者が多い様子も伺えます。

地域住民の主体的な取り組みで 大切であると感じるもの

1. 高齢者のみの世帯の見守り訪問 (68.9%)
2. 災害発生時の避難誘導 (61.1%)
3. 自力での雪かきが困難な世帯への対応 (50.7%)

⇒上位2つは第3期きずな計画の中でも重点項目だったため、実践を通し大切さを感じ続けている活動者が多いようです。雪かきの支援に加え、ゴミ出しや買い物支援等の「生活支援」に関心が寄せられている傾向が見られました。

コロナ終息後も 福祉活動を停滞させないために 必要と思う取り組み

1. 福祉活動に関する相談体制の充実 (62.1%)
2. 訪問やつながりづくりに使用するチラシ等の作成 (36.5%)
3. 市内・市外の先駆的な事例の提供 (31.1%)

⇒相談体制の必要性に票が集まったことに加え、つながりを維持するための訪問活動のきっかけとなるチラシ作成の支援や、先駆的な事例から学びたいとの活動者の想いも感じられる結果となりました。

住民がともに支え合う 地域に大切な心がけ

1. 無理のない活動にすること (83.6%)
2. 相手の気持ちを汲み取ること (59.4%)
3. 約束や秘密を守ること (53.9%)

⇒1番多かった無理をしないという活動のあり方に関するものに次いで、相手と関係や信頼を築く上で大切なポイントが上位を占める結果となりました。日頃からこうした点を大切に支え合いの取り組みを行う活動者が多い様子が伺えます。



福祉活動の魅力を感じたエピソード



- いろんな方々との出会いはたくさんの発見と成長があり、素敵だと感じます。
- 登校時の見守り活動をして10年、子ども達の成長がうれしいです。1年生の時泣いていた子も中学生になり、礼儀正しくあいさつしてくれます。
- ひとり暮らし高齢者のワクチン接種予約を手伝ったら、その後無事接種できたとお礼の連絡をもらい、ご家族とも知り合うことができました。



- 今まで会ったことのない人たちと知り合えたこと。
- 訪問活動時、季節に応じた「お疲れ様」の言葉をかけてもらえてやりがいを感じる。
- 自分も高齢者なので、福祉活動を通して友人ができお互いに助け合える。



きずな計画を進めていく上での意見やアイデア



- 高齢世帯は福祉活動に関する情報が伝わりにくいと思うので、総合窓口を設ける等、必要な情報をいち早く伝えることができると安心感につながると思います。
- 若い世代にも参加してほしいですが、難しいのが現状です。もっと気軽に参加できるお助けボランティアのような組織があればと思います。
- コロナの影響で研修会等が中止になっているが、形を変えて継続してほしい。



- 福祉関連の幅広い知識が習得できるよう支援し、ボランティア個々のスキルアップを図っていく。
- 障がい者が地域で安心して暮らすためには多くの理解と支援が必要で、本人だけでなく家族に対する支援も必要だと思います。

今後のスケジュール

11月～1月

- ・ きずなリーダー会議および計画策定プロジェクトチームによる全市計画の内容検討
- ・ 各小学校区きずな推進委員会による校区計画の内容検討

2月

- ・ 計画書の作成

3月

- ・ きずな推進委員会から社協への答申



策定記念講演会を上映しています

今後の地域福祉のキーワードである「地域共生社会」について学ぶ講演会の上映を行っています。

厚生労働省の「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会」で座長を務められた日本福祉大学教授の原田正樹先生による講演と、市内3名の活動実践者の皆さんから日頃地域で取り組む福祉活動についての発表の2部構成となっています。

各種会議等での上映の他、ご自宅での視聴も可能です（登別市民限定）。ご希望の方は登別社協までお問い合わせください。

歳末たすけあい募金にご協力ください

運動期間 12月1日～12月31日まで

目標額 530万円



寄付金付きご当地パツッ



「登夢くん」と「クマ」

8月30日に日本工学院北海道専門学校でご当地バッジデザインコンテスト表彰式を行いました。このバッジは例年同校CGデザイナー科1年生の最初の課題として提出いただいたデザイン案の中から、最優秀賞に選ばれた作品を採用しており、500円以上の募金につき一つ進呈しています。次の場所で取り扱っておりますので皆さんのご協力をお願いいたします。

取扱場所 登別市役所母子会売店・アーニス・のぼりべつクマ牧場・登別市民会館
登別公民館・登別パークサービスセンター売店・登別市社会福祉協議会

歳末たすけあい募金運動とは？

毎年12月に共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人たちが安心して暮らすことができるよう、様々な福祉活動を重点的に展開する運動です。

お寄せいただく募金は、すべて登別の福祉活動に活用されます。

〈来年度のこのような事業を支援するために募金活動を行います〉

◆歳末見舞金贈呈事業

経済的支援が必要な世帯等へ見舞金を贈るために。

◆きずなのまちづくり助成事業

市民ボランティア団体等が行う福祉活動を応援するために。

◆ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者等の生きがいと居場所づくりを進めるために。

◆小地域ネットワーク活動推進事業

町内会による見守り・支え合い活動を広げるために。

◆応急生活支援事業

災害・コロナの影響で生活困窮となった方を支援するために。

◆まごころお届けプロジェクト事業

「まごころレター」の配布を通じ、地域住民と担い手のつながりを支援するために。

◆在宅介護支援事業

制度を利用できない人へ車いすや福祉用具の貸出を行うために。

募金の方法

町内会のご協力のもと、各世帯に歳末たすけあい募金の回覧と、募金用封筒を配布しご協力の呼びかけを行います。11月中旬以降にご案内いたしますので、皆さんのご協力をお願いいたします。



赤い羽根でつながる 優しさの輪



「じぶんの町を良くするしくみ」を
応援しませんか

共同募金運動は、じぶんの町を良くするしくみとして、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を目指し活動する住民や団体を支援するため、募金運動への参加や、寄付を通じてまちづくりを応援していく民間の運動です。

市内で寄せられる赤い羽根共同募金は翌年の登別の福祉活動を応援するために活用され、その中の一部は災害時対応や福祉車両の助成等、全道的な支援に活用されます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの行事や活動が中止・延期となっていますが、これからは新しい形で「人と人とのつながり」をより一層育み、互いに助け合っていくことが必要です。今後の地域福祉活動はこれまで以上に重要であり、共同募金は財政面で活動を支援するという大きな役割を担います。

応援の方法もたくさんあります。一人ひとりができるカタチで一緒にこのまちを思い、優しさの輪を広げてみませんか。



◆赤い羽根の着用で応援！

赤い羽根を着用することで、共同募金運動のPRに繋がります。登別市や市議会、教育委員会の方にも毎年赤い羽根を着用していただき、来庁者の方へPRを行っていただいています。

◆ポスター掲示でPR！

施設・企業・事業所・商店等にポスターやのぼり旗の広報掲示をする取り組みです。共同募金運動を広く市民に広報啓発するために、ポスター1枚から始められる協力のカタチです。



◆募金型自動販売機で応援！

商品の購入代金の一部が募金となるしくみです。現在、登別市内では3か所に設置されています。

【設置企業・団体】

- ・ホテルゆもと登別
- ・フロントティア登別
- ・登別市社会福祉協議会

◆赤い羽根サポーターグッズのご紹介！

赤い羽根共同募金を応援するため、道内スポーツチーム等が赤い羽根サポーターとして、共同募金グッズの製作にご協力いただいています。本会事務所（総合福祉センターしんた21内）で一定額以上の募金をされた方に進呈しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

クリアファイル

～300円以上の募金で1枚進呈～

- ・北海道日本ハムファイターズ
- ・北海道コンサドーレ札幌
- ・初音ミク（全3種）
- ・劇場版「呪術廻戦0」



缶バッジ

～200円以上の募金で1つ進呈～

- ・北海道日本ハムファイターズ
選手、マスコット……全13種
- ・北海道コンサドーレ札幌
選手、マスコット……全5種



お問合せ先 登別市共同募金委員会
電話・8810860
FAX・8814546

高齢者の暮らしに 寄り添う仲間を 募集しています

登別社協では幌別東小学校区、
幌別小学校区、幌別西小学校区に

お住まいで外出や買い物にお困りの高齢者等を対象に、「居場所づくり」「介護予防」「買物支援」を一体的に行う「地域拠点丸ごと支え合い事業」を実施しています。

この事業はボランティアの運営スタッフと利用会員との支え合いの活動です。自分自身の健康のため体操を覚えてくれている方や、運動が得意な方、お話しすることが好きな方等、それぞれのスタッフの好きや得意を活かして無理のない範囲で活動されています。多くの方が仲間として加わることで、人と人が交流できるより温かな事業となるよう、一緒に活動する運営スタッフを募集しています。ぜひ仲間に加わりませんか。



【活動日】毎週火曜日、金曜日

9時半～12時

(今後水曜日も実施予定)

※可能な日程を伺いながらスタッフの活動シフトを作成しているため、月に1回の参加でも大丈夫です。

【会場】登別中央ショッピングセンター

アーニス2階 あえるSTATION

【内容】利用会員とのお話や体操、買い物の

付き添い等（運動が得意な方には送

迎を担当いただく場合があります）

【特典】1回の活動につき500円分のアー

ニスサービスチケットと交換ができる

ポイントを進呈(月4ポイントまで)

開始から5年目を

迎え多くの地域住民が利用し、毎週顔を合わせる内に利用会員も運営スタッフも同じ地域に暮らす仲間として親しくなっていく、そんな和やかな雰囲気です。

ボランティア活動

をこれまで行ったことがない方でも楽しめる内容ですので、どなたでもお気軽にお問い合わせください。



▲詳細はホームページから

寄付者のご紹介 (2021年8月1日～2021年9月30日)

(敬称略/単位:円)

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付の目的
2021.08.06	ペルキッズマルシェ実行委員会	20,000	ペルキッズマルシェin来場公園での益金の一部を社会福祉のために
2021.08.17	川島芳治	10,000	社会福祉のために
2021.09.10	佐藤政勝	100,000	社会福祉のために

愛の小箱等設置協力者のご紹介 (2021年8月1日～2021年9月30日)

(敬称略/単位:円)

受領年月日	設置協力者名	寄付金額	種別
2021.08.25	登別中央ショッピングセンター アーニス	800	愛の小箱 (ガチャガチャ)
2021.09.30	登別中央ショッピングセンター アーニス	700	愛の小箱 (ガチャガチャ)

地域に暮らす仲間達へ元気を届けよう！

ささえあいメッセージプロジェクト

登別社協ときぎすな推進委員会では、コロナ禍を住民同士で励まし合いながら乗り越えることができるよう、「ささえあいメッセージプロジェクト」を実施します。いただいたメッセージは冊子にまとめて配布する他、本会ホームページでも公開予定です。

同じ地域に暮らす仲間達とメッセージを送り合いませんか。ごなたでも参加可能ですので、ぜひお寄せください。



【募集内容】

「コロナ禍を元気に乗り越えるための励ましや応援のメッセージ」もしくは「コロナ禍後にやってみたいことや楽しみなこと」と掲載可能なニックネーム・お住まいの町名をご記入ください。

【募集期間】 2021年11月16日(火)まで

【参加方法】 ※1〜3いずれかの方法でご参加いただけます。

- 1、本会ホームページからメッセージカードをダウンロードし、記入後本会へ郵送いただくか回収希望のご連絡をお願いします。
- 2、本会代表メール（表紙に記載）にメッセージを送信ください。
- 3、お住まいの地区の担当民生委員・児童委員へご連絡ください。希望者へカードのお渡しができます。

【その他】

メッセージカードはそのまま印刷し、冊子にまとめます。メールで文面をお送りいただく場合は、分量を調整する場合があります。

まぢびとのまちびと

このコーナーでは、地域で精力的に活動されている方のきずな活動に対する想いや、これからの活動の展望などをお伝えします。

今回は、幌別鉄南地区連合町内会の会長を務める 森 芳昭さんにお話を伺いました。

「協力し合い、より良い地域を目指して」

幌別鉄南地区連合町内会会長

森 芳昭さん（幌別町）



私は幌別鉄南地区連合町内会の会長を務めて8年程になります。人前に立つて話をするのは得意でないためはじめは不安もありましたが、他の役員や各単位町内会がいつも協力的にサポートしてくれるおかげで大変助けられています。鉄南地区は昔ながらの一体感がある土地柄で、何かを決めて行う際にも一致団結できることが心強いです。これまでの諸先輩方が築き上げてきた地域のきずなのおかげと感謝しています。

現在登別中央ショッピングセンターアークスを会場に行っている高齢者等の買い物支援と居場所づくりの取り組みである「地域拠点丸ごと支え合い事業」は、鉄南地区での1年間のモデル実施からスタートしました。当時は私も運転手として参加し、希望する高齢者のスーパーまでの移動支援

「まちびとには、登別のまちの人、問題と人をマッチングさせる人、布の長さを補うまちのよう」に地域を補う人という意味が込められています。

を担いました。その翌年に事業化し、現在は開始から丸4年を迎え多くの高齢者の方の生活の支えとなっていることを嬉しく思っています。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事や活動が止まってしまっていますが、明けていくのに伴ってまた少しずつできることを増やしていきたいと感じています。毎年鉄南ふれあいセンターを会場に開催していた「鉄南フェスティバル」は子ども達も楽しみにしているお祭りなので、できる形でまた実施したいと願っています。

コロナ禍の現在も定期的に行っているのは、月に2回の町内会の花壇整備活動です。毎回10人前後の参加者と作業をしながら近況を報告し合い、交流の生まれる大切な時間です。

思い返してみると、私は昔から地域とのつながりや交流、人と交わる中で顔見知りが増えていくというのが好きだったのだと思います。人のためにお世話を焼いたり、手を差し伸べたりということも好きで、地域での活動を続ける原動力になっていたのかも知れません。

これからも地域の皆さんと一緒に、より良いまちづくりができればと思います。

福祉活動功労者 14団体23名が受賞

10月25日、総合福祉センターしんた21の多目的

ホールにおいて、2021年度登別市社会福祉大会表彰式典が行われ、多年にわたり地域福祉活動に貢献された方々へ登別市社会福祉協議会会長および登別市共同募金委員会会長から表彰状が手渡されました。

当初は9月に登別市民会館において福祉活動のパネル展もあわせて行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、表彰式典のみ行われました。

◆登別市社会福祉協議会会長表彰

【社会福祉事業功労者】

多年にわたり社会福祉に功労があった方

南 行雄、辻 勲、山崎敏男、池田加穂留、宮地眞治、真野道夫、松原憲康、柏木修吉、星 正昭、村田福子、渡辺みずき、越谷儀光、河上邦子、丹治章子、村上 誠、小林靖親、三坂春良、片山トキ工、石井郁子、中原和恵

【社会福祉援助功労者・団体】

社会福祉への援助に対し特に功労のあった方・団体

遠藤秀雄、小林興業株式会社、法栄寺、TEAM

Weis NOBORIBETSU

◆登別市共同募金委員会会長表彰

【永年奉仕者】

多年にわたり共同募金活動に奉仕した方

竹内芳郎、竹中洋子

【永年寄付者】

多年にわたり共同募金に寄付した方

司法書士伊奈綾事務所、法栄寺

【優良団体】

多年にわたり共同募金活動に功労のあった団体

1. 戸別募金(封筒募金)

登別温泉青山町内会、柏木町内会、はまなす町内会

2. その他募金(赤い羽根協力店)

登別中央飲食店組合、登別市母子寡婦の会市役所売店、就労継続支援施設月とらいおん、NPO法人ゆめみくる、ツルハドラッグ登別中央店、ツルハドラッグ登別若草店、ツルハドラッグ登別富岸店

※氏名は順不同、敬称略にて掲載しております。

コンパニア・デ・マンドリーナ 道新ボランティア奨励賞受賞

地域福祉の充実や社会福祉の向上に寄与する活動を行うボランティア団体に贈られる道新ボランティア奨励賞(一般奨励賞)を、市内外の福祉施設への訪問演奏を中心に活動する「コンパニア・デ・マンドリーナ(代表 蛭田進一さん)」が受賞しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、「施設で暮らす方へ楽しい時間を届けたい」と実施したオンラインによる演奏会等、先駆的な活動を行っています。



会員の皆さなからのコメント

17年間の活動で得た連携プレーで自主練習用の楽譜やCDの作成、ミニ新聞を発行して全員の近況を確認し合う等、コロナ禍で思うような活動ができない中でもきずなを繋いでいます。

この度、多数の団体の中から栄誉ある賞に選ばれ大変嬉しく思います。ありがとうございます。

この度の受賞、おめでとうございます。